

担当者	比良保育園 担当： 園長 久保田 はるみ				
連絡先	077-592-1186 内線				
総合計画 位置付け	基本方針	基本政策	施策	視点	主な取組
	-	-	-	-	-

令和4年8月25日

～園児もビックリ～  
比良保育園の園児が **水色のアマガエル**を発見

大津市立比良保育園の5歳児が、園のかぼちゃ畑で水色のアマガエルを見つけました。

子どもたちがよく知っているアマガエルは緑色ですが、発見したカエルは水色だったため、子どもたちは興奮して、周りの友達や保育士に知らせました。興味を持って触ろうとしましたが、ある子どもの「毒があるかもしれない」との声から、このアマガエルについて調べることにしました。

子どもたちは、早速カエルの種類や餌、飼育方法などわからないことを図鑑で調べ、とても興味をもっています。このように、保育園では日頃から、子どもたちが自ら身近な環境に好奇心や探求心を持って関わり、発見を楽しんだり、考えたりすることを大切にしているところです。

今回のアマガエルとの出会いが、子どもたちの興味や関心につながり、自然の不思議さや命の大切さを感じたりする機会になればと願っています。

記

1. 発見生物

アマガエル（水色）

2. 発見者

大津市立比良保育園 園児（5歳児）

3. 発見日

令和4年8月23日（火） 15時頃



4. その他

○発見したカエルの種類、飼育の可否、飼育方法等について、琵琶湖博物館に問い合わせをすると色素変異のアマガエルであることがわかりました。一般的にアマガエルは緑色ですが、アマガエルの皮膚の色素（黄色・青・黒）のうち黄色の色素をもっていない個体が青色に見えるとのこと。

○琵琶湖博物館の指導に従い、安全に観察をし、今後飼育をするかどうかは子どもと相談して決めます。

○取材に来られる場合は、事前にご連絡ください。発見した園児へのインタビューもできます。